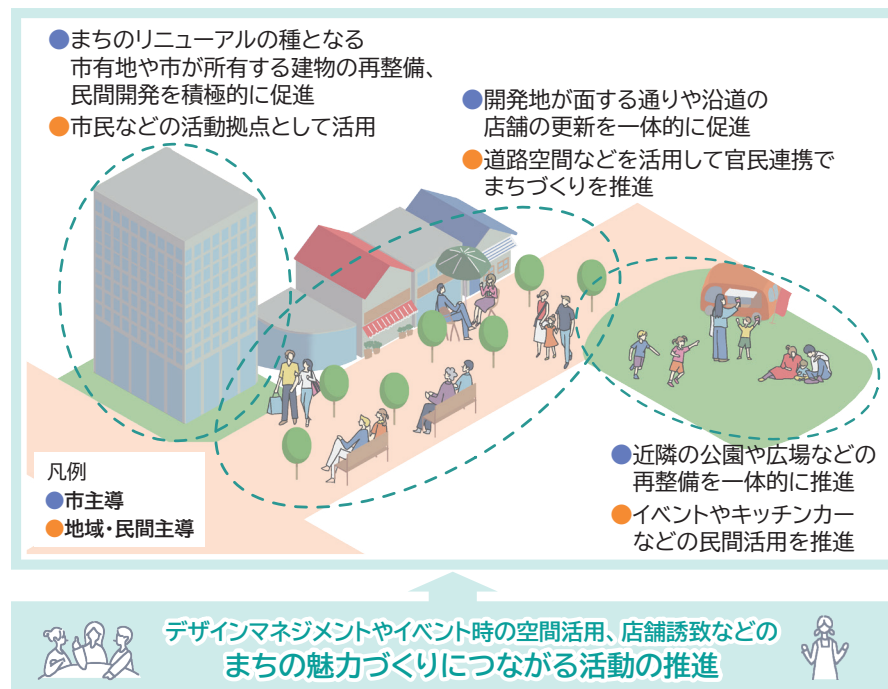


第6章 実現に向けて

1.まちづくりの進め方

社会実験などによりまちのリニューアル(再生)を進めるための機運を醸成するとともに市有地や市の所有する建物の再整備を周辺の市街地の更新、通りの空間形成などに波及させていくための種となる重要なプロジェクトとして積極的に推進します。また、民間による公園・広場や通りなどでの活動や建物の更新をきっかけとしてまちのリニューアル(再生)が進むことも想定されるため、有効となる活動や民間開発を積極的に促進します。

ハード・ソフトの組み合わせによるまちのリニューアルのイメージ



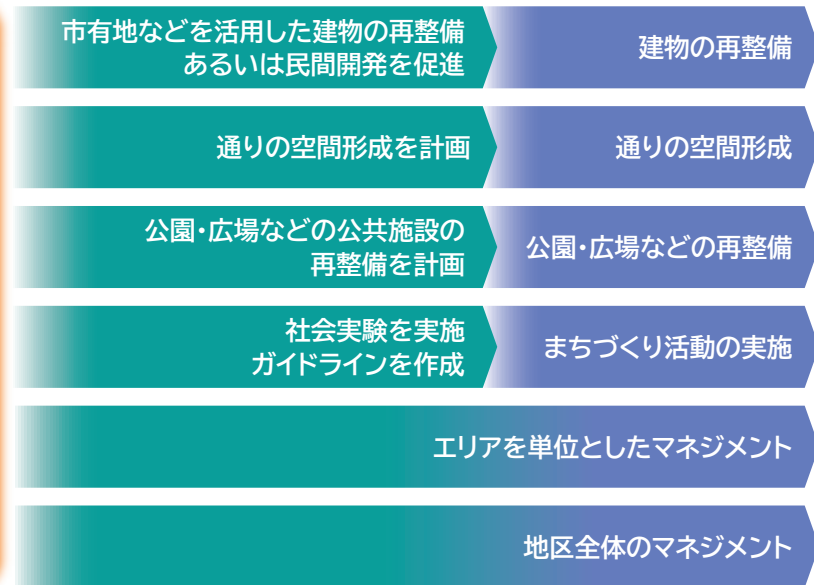
この章では、将来構想を実現するための取組みや進める順序、推進体制を示しています。また、実現に向けた本市や様々な主体の関わりを示しています。

まちのリニューアル(再生)の推進にあたっては、建物の建替え、通りの空間形成、公園や駅前広場などのハードの取組みとデザインマネジメント[※]やイベント時の空間活用、店舗誘致などのまちの魅力づくりにつながるソフトの取組みを一体的なエリアで進めます。

これらの取組みには、多様な主体が関わっていくことが重要であることから、平塚駅周辺地区全体及びエリア単位のまちづくりを推進するための体制、仕組みをつくり進めます。

まちづくりの進め方のイメージ

まちのリニューアル(再生)を進める機運の醸成

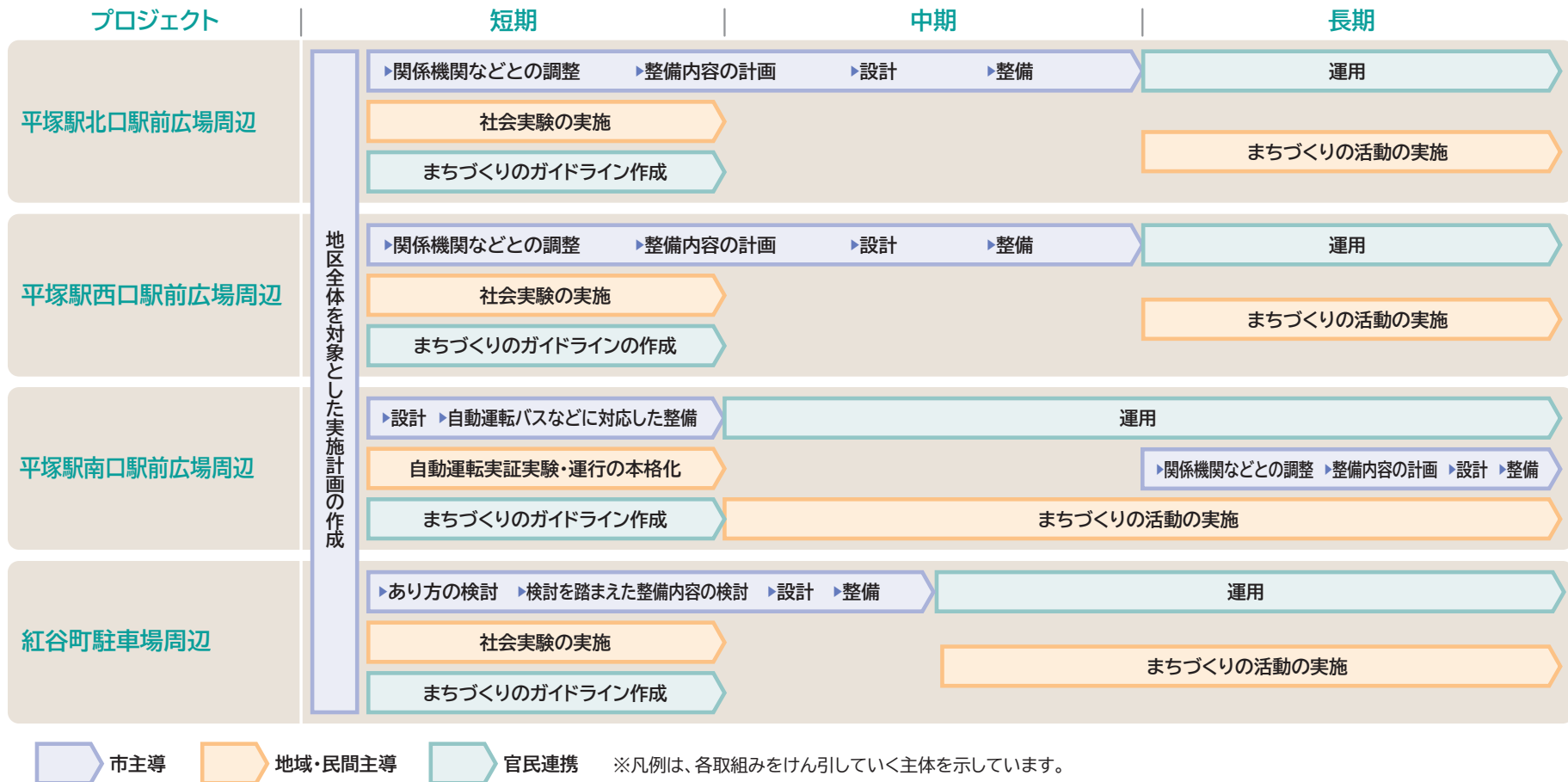


2.フラッグシッププロジェクト

「第3章 グランドデザイン」の「交流・にぎわいの中心となる都市機能を誘導するポイント」に位置している、平塚駅周辺地区のまちづくりを進めるための種となるような重要な4つのフラッグシッププロジェクトを設定しました。将来構想策定後のおおむね20年間で短期、中期、長期に分けてま

ちづくりの進め方を整理していますが、ここで示した進め方は一例であり、推進にあたっては、関係者との調整や社会状況の変化などを捉えて、柔軟に進める必要があります。

なお、通り(道路)や公園は、各プロジェクトの進捗を踏まえ、利用者などへの影響を勘案しながら関係する箇所を進めます。

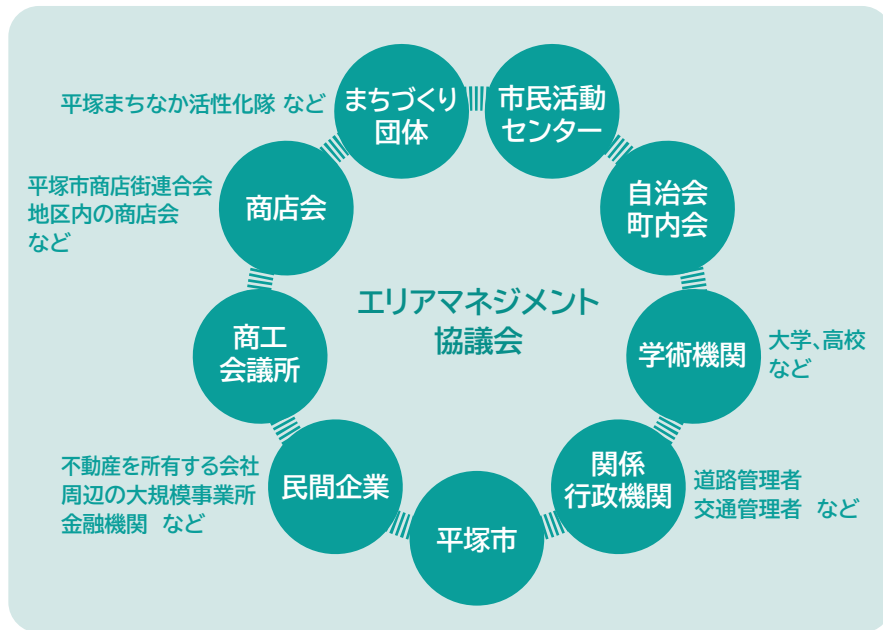


3.まちづくりの体制

まちづくりを進めるための体制の一つとして、一定のエリアを対象として、官民連携で地域・関係者の協力のもと継続的なまちづくり活動の実施や空間の運用、管理を行うエリアマネジメントがあります。

将来構想の推進にあたっては、エリアマネジメント協議会を組織し、空間のデザインマネジメントと運用・管理を行っていきます。

まちづくりの体制と役割のイメージ



■空間形成のデザインマネジメント

- 関係者との協議による通りごとの空間形成ガイドラインの作成
- 都市開発などに関わるデザインのマネジメント(関係者との協議・提案) など

■まちづくりの活動

- 活性化のためのイベント
- コミュニティプレースの運営・管理
- 公共空間の活用
- 新規店舗の誘致、店舗や公共施設の情報提供
- 防災、防犯活動 など

■エリアの管理

- 公共空間の維持・管理方法の調整
- 商店会、自治会などと連携した公共空間の維持・管理 など

4.実現手法

将来構想は、将来のあるべき姿を描いた構想です。

実現に向けては、今後、地権者や関係者との協議を進め、具体的な事業内容や区域を示していく必要があります。

この構想の実現を後押しするため、次の取組みを進めます。

■まちづくりのためのルールづくり

適切な土地利用や空間形成の誘導、空間活用のために必要なルールを官民連携で検討します。

■共同建替えなどの支援策の創設「平塚駅周辺地区アクションプラン」

「将来構想」を踏まえ、まちのリニューアルのきっかけとなるような事業を推進するため、民間の事業者などが共同建替えなどを進めやすいように、支援メニューを取りまとめ、段階的に運用します。

■実施計画の作成

道路や公園・広場、駅前広場などの再整備を進めるため、社会実験を含めた個々の事業の計画を作成します。

■将来構想の進捗確認や普及の場づくり

多様な主体が関わり、長期的に将来構想に沿ったまちづくりを進めていくため、関係する主体や団体、市民が将来構想の目的や進捗状況を継続的に共有し、情報交換する機会をつくります。